

ここが聞きたい
一般質問

にする」の意味。一定区画の公共の場所を養子にみため、市民が里親となって養子の美化（清掃）を行い、行政がこれを支援します。市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで美化を進めます。

○職員給与と残業支払いについて



みずのお 瑞男
たかはし 高橋

○市道増沢高堂線について

質問 職員給与については合併時に統一する、との約束事項であったが今日の様な状況になっているか、平成20年度中に見直しするとの回答であったが号級の見直し、切替日はいつとなったのかを伺います。

市長 本年4月より見直し、適正に処理しています。

質問 臨時職員残業支払いについてですが残業分は、「後で時間休暇を取って下さい」との話が聞こえたのですが、その様な事実はないか伺います。

教育長 残業している部署はありますが、その様な話は聞いていません。

質問 市道増沢高堂線は増沢から

衣川区簡易水道水源地を通り旧衣川村当時の温泉地湯場まで通行可能な道路です。その先は国見平スキー場、黒滝温泉、一関まで通行出来る奥州西山の大動脈です。この道路は国有林、市有林、共有林、私有林、農地及び水源地の管理道路です。水源地の前後に道路損傷があるので、早期の着工が望まれますが、伺います。

市長 昨年の地震によって市道増沢高堂線は水源地の前後で山腹崩壊により市道も損傷し増沢に崩落している状況でした。増沢ダム側の山腹崩壊による被災箇所については、工事施工し本年の降雪期前の完了を目指し、工事施工中です。



市道増沢高堂線（衣川区）

しかし、増沢水源地奥の高堂側の被災箇所については、費用対効果の点で災害査定に堪えないこと、いろいろ期間を要することから見合わせています。

○散居景観の取組み
○胆沢ダム周辺整備計画
○農業所得の向上対策



わたなべ ただし 渡辺

質問 散居景観を観光資源として取組む姿勢がみられません。2年後の全国散居村サミットに向け、展望台の設置も含めどのような取組みをしていくのか伺います。

市長 市として新たな取組みを再構築し、日本三大散居としての貴重な景観を生かしながら観光産業に結びつけていきます。景観を後世に伝える観点からも展望台は有効な施設と認識しているので、今後検討します。

質問 年間35万人が訪れる焼石連峰を中心に、胆沢ダム周辺整備の見通しと、観光行政にどう結びつけていくのか伺います。また森林セラピー基地として検討するべきと思いますか伺います。

市長 胆沢ダム周辺整備計画は、



見分森から望む散居風景

国、県等を中心に、関係機関との協議を踏まえ年内に確定をしたいと思えます。また観光客誘致に結びつける努力もしていきます。森林セラピー基地は、1つの手法としてとらえ、関係者の中で協議し検討していきます。

質問 農業所得が年々減少していますが、向上対策として何を検討しているか今後の取組みを伺います。

市長 米・畜産・野菜・果樹等を中心に市場マーケットのニーズに応え、経営感覚のある農家を育成することが重要です。高品質農畜産物の生産に加え、効率化と拡大効果を生かす必要があり、今後、奥州市農政基本方針を策定し農業所得の向上を目指していきます。